

## 2025 年度 滋賀県山岳連盟 積雪期 山岳技術研修会 実施要綱

JMSCA(日本山岳・スポーツクライミング協会)滋賀県山岳連盟(以下、滋賀岳連)では、山岳活動を行い山岳技術向上のための山岳技術研修会を開催しています。こうした研修会を通して、自らの山岳技術の習得・向上を目指し、また参加者との交流を図り、安全登山・登攀の実践を進めて頂きたいと考えています。滋賀岳連会員のみならず、その他岳連会員、一般参加者とともに山岳技術研修会に参加下さい。

### 記

- 目的 冬期登山・登攀技術の習得
- 主催 滋賀岳連
- 主管 滋賀岳連 指導・技術委員会
- 期日 2026 年 2 月 21 日(土) 8:00~16:00
- 会場 マキノ高原スキー場周辺  
(滋賀県高島市マキノ町牧野 931 番地 <https://makinokougen.co.jp>)
- 受付 2 月 21 日(土) 7:30~ マキノ高原 管理事務所前(温泉さらさ周辺)  
※駐車場(1,000 円/台)
- 参加費 滋賀岳連会員 2,000 円、その他岳連会員 3,000 円、一般(岳連非会員) 5,000 円
- 講師・スタッフ 主任講師 益戸 隆二(JSP0 山岳 SC コーチ)  
その他 指導・技術委員会もしくは指導・技術委員会が任命したスタッフ
- 研修内容 「冬期山岳における自己防衛の習得」
  - ・読図、雪山の登山技術、雪崩ビーコン操作
  - ・アイゼン歩行、滑落停止、ロープワーク等
- 日程 8:00 開講式~オリエンテーション(共同装備は分担して持って頂く)  
研修山行入山 → マキノ高原スキー場周辺 → 研修 → 下山  
※研修内容は天候や積雪状況によって変更実施致します。  
16:00 閉講式~解散
- 装備(個人)
  - ①日帰り冬山登山装備  
ザック、冬山用アウター・手袋・ゲイター(スパッツ)、アイゼンを装着できるミドルカット以上の防水仕様登山靴、防寒帽、防寒着、コンパス、ツェルト等
  - ②昼食、非常食、飲料水、保温水筒
  - ③冬山登攀用具一式  
アイゼン 12 本爪、アックス(ピッケル)、ヘルメット、ハーネス、カラビナ、スリング等(お持ちであれば装備下さい→ワカン or スノーシュー、ストック)
  - ④雪崩対策用具一式 ※お持ちの範囲で装備下さい  
雪崩ビーコン、山岳用スコップ、プローブ(ゾンデ棒)等
- 参加対象 冬山初心者(上記装備できる者)~経験者
- 参加資格 滋賀岳連やその他の岳連の所属山岳会/団体会員、一般(岳連非会員)  
尚、一般からの参加者は参加審査致します。事情により、参加をお断りする場合がありますのでご了承の上申込み下さい。
- 傷害保険 主管が参加者一括して JMSCA 包括団体保険に加入(参加費に保険料含む)

- 申込先 滋賀山岳連盟 指導・技術委員会 会長 益戸 隆二  
mail: ryuji-ma@mx.bw.dream.jp
- 締切り 2026 年 2 月 1 日まで。但し、先着 10 名で締め切ります。
- 申込み方法 下記必要事項を記載し、メールもしくは以下 QR コードで示すメールフォームにて申込みして下さい。



QRコードが読み取れない場合は以下URLへ  
→ <https://ws.formzu.net/dist/S174290285/>

<必要項目>

氏名/性別/生年月日/住所/携帯番号/緊急連絡先/参加者区分/所属山岳会/  
所有 JSP0 資格/クライミング経験/要望等

○その他

- ・参加者には必要に応じて、一斉メール等で諸連絡を行います。
- ・荒天などにより中止する場合は、前日までに委員会より連絡致します。
- ・この研修会は危険行動を伴う研修内容を含みます。主催者は安全には十分に配慮しますが、不慮の事態や自然等の外的要因のため、傷害事故や生命に危険をもたらす事態が起こる可能性があります。またこうした事象に対しての出費などは、主管が一括して申し込む山岳保険(JMSCA 包括団体保険)から支払われる範囲の保険金までとし、それを越える費用は、各自の保険等で自己負担をお願い致します。それを認知した上で参加の申込みをお願い致します。
- ・受講を取り消される場合は、すみやかに、当委員会会長 益戸のメールアドレスへご連絡下さい。【受講料のキャンセル料について】当日 100%、前日 50%

以上